

自由民主党会派と県民をつなぐ

リンク

# Link

no.10 2007.06



## ごあいさつ



自民党県連会長  
津谷永光

本年はなんと目も前の参議院選挙に勝利しなくてはなりません。そのための組織でありそのための新しい県連人事を固めました。

我が自由民主党は責任政党として政権与党として、どのような難題であっても先送りにはできません。年金問題をはじめ、山積している政治課題の解決については、国民の不安をあまり先送りしているだけの野党にはまかせることはできません。

私たち自民党県連は国民・県民の皆さまを信じ、少々の風に揺るぐことなく自信と誇りを持って、輝かしい秋田県の未来を築くため、粉骨砕身の努力を続けてまいります。

## ごあいさつ



秋田県議会議長  
大野忠右工門

この時期、秋田県議会における第61代議長の要職を拝命したことに鑑み、身の引き締まる思いです。地方議会の惰性と衰退が叫ばれて久しく、私たちは日々、そうした県民の叱咤を浴びながら、それでも健全な議会の運営と行政のチェックアンドバランスを心がけてまいりました。

昨今では我が秋田県議会においても、当局の専横による議会軽視、品性を欠く議員発言などが散見されるにいたり、慚愧に耐えられません。私は、与えられた任期を通し公明にして正大をモットーに、蛮勇を奮ってでも健全で実りある議会を守り抜く所存です。県民の皆さま、どうぞ秋田県議会をお見守りください。

皆さんの付託を受けた議員がどのような活躍を見せるか、ご期待ください。  
**自民党会派・各議員の委員会所属が決まりました。**

## 総務企画

### 委員会

- ◆ 県庁内部の仕事の見直し
- ◆ 防災・災害対策事業
- ◆ 広報・公聴事業
- ◆ 県の総合計画、県予算・税金に関することなど

◎委員長



大関 衛<sup>③</sup>  
政務調査副会長  
党紀委員



鈴木洋一<sup>⑤</sup>  
幹事長  
財務委員



大里祐一<sup>④</sup>  
党紀委員長



小田美恵子<sup>③</sup>  
女性部長



中泉松司<sup>①</sup>  
青年部長

- ◆ 県内視察 ●9月25日(火)～27日(木)  
雄勝・平鹿地域振興局管内
- ◆ 県外視察 ●8月21日(火)～24日(金)

## 農林商工

### 委員会

- ◆ 農業・漁業・林業の振興、研究、指導、整備事業
- ◆ 商工業の振興・就業観光PR事業
- ◆ 水力発電を利用した電気事業など

◎委員長



柴田正敏<sup>②</sup>  
政務調査会長代理

○副委員長



川口一<sup>③</sup>  
会計監督



能登祐一<sup>④</sup>  
副幹事長  
党紀委員



小松隆明<sup>①</sup>  
広報副委員長



加藤鉦一<sup>①</sup>  
組織副委員長

- ◆ 県内視察 ●8月1日(水)～3日(金)  
北秋・鹿角地域振興局管内
- ◆ 県外視察 ●10月23日(火)～26日(金)

## 学術教育公安

### 委員会

- ◆ 科学技術の振興、試験・研究機関の活用
- ◆ 学校教育、生涯教育、文化財の保護
- ◆ 犯罪防止、交通安全の指導・取り締まりなど

◎委員長



洪谷正敏<sup>②</sup>  
総務副会長  
政務調査副会長

○副委員長



武田英文<sup>③</sup>  
政務調査会長



北林康司<sup>⑥</sup>  
会計監督



富樫博之<sup>④</sup>  
組織委員長



佐藤賢一郎<sup>①</sup>  
財務副委員長

- ◆ 県内視察 ●7月2日(月)～4日(水)  
由利・仙北地域振興局管内
- ◆ 県外視察 ●10月30日(火)～11月2日(金)

# 福祉環境

## 委員会

- ◆ 県民の健康・暮らしを守るための施策、高齢者・障害者のための施策
- ◆ 住みよい環境づくり、芸術文化・ボランティア活動の支援など

○副委員長



鶴田有司④  
総務会長  
政務調査副会長



津谷永光⑥  
県連会長



金谷信栄③  
党紀委員



原 幸子①  
女性部副部長

- ◆ 県内視察 ●7月31日(火)～8月1日(水)  
秋田・山本地域振興局管内
- ◆ 県外視察 ●10月23日(火)～26日(金)

# 建設交通

## 委員会

- ◆ 道路・公園・ダム・空港などの整備事業
  - ◆ 河川改修、建築物の調査・指導事業など
- 出納局
- ◆ 会計事務の指導及び検査  
庁舎管理、公有財産の管理・処分
  - ◆ 建設・設備、農政、林務、建設関係の工事検査 など

◎委員長



平山晴彦②  
広報委員長  
政務調査副会長



佐藤健一郎⑤  
財務委員長



大野忠右エ門④  
党紀委員



工藤嘉範①  
青年局長

- ◆ 県内視察 ●8月8日(水)～8月10日(金)  
秋田・山本地域振興局管内
- ◆ 県外視察 ●10月23日(火)～26日(金)
- ◆ 予算要望活動 ●8月1日(水)～2日(木)  
仙台／東北地方整備局／東日本高速道路(株)  
東京／議員会館(県出身国会議員と打ち合わせ)／国土交通省

## 監査委員

金谷信栄

子どもを生き育てるための諸問題を整理し、  
施策の方向性と具体策を調査・研究する

## 子育て支援・教育充実等に関する調査特別委員会

◎北林康司(委員長) 鶴田有司 小田美恵子 平山晴彦  
佐藤賢一郎 加藤鉦一 原幸子 中泉松司

## 議会運営委員会

◎小田美恵子(委員長)  
北林康司 佐藤健一郎  
大里祐一 能登祐一  
富樫博之 佐藤賢一郎  
加藤鉦一

## 【政務調査活動の方針】

政党の命は政策であり、党活動の基本は理念に基づいた政策とその具現にあるといえましょう。  
県連は、自由民主党本部の公約を具体的な活動として実践し、その実現を図ります。  
とりわけ緊急な3つの項目については、重点的に取り組むこととお約束するものです。

### 《1：地域経済の回復》《2：農林水産業の振興》《3：地域医療環境の整備》

これらの実現のため、政務活動調査を通じて直接皆さまの声をお聞きし、  
あらゆる情報をキャッチして、政策に反映できるよう努力してまいります。

## 自民党秋田県連大会

自民党秋田県連大会が6月24日開かれ、自民党本部からは丹羽雄哉総務会長、片山さつき広報局長のご臨席をいただきました。

大会では、県議会において23名の最大会派に躍り出た結果をふまえての統一地方選挙の総括、および新しい陣容で臨む今年度の活動方針などが熱心に討議されました。そして予定されている参議院選挙では、逆風が予想されるなか厳しい選挙戦が予想されるとし、一致結束して党公認候補を全力で応援することを誓い合い、大いなる盛り上がりのうちに閉幕しました。

ご参集の上、大会を意義あるものへと導くためご尽力いただいた党员各位に対し、県連を代表して心からの敬意を表します。なお、先の常任総務会で選任された津谷会長はじめ、役員人事が満場一致で承認されました。従前に増しての皆さまの厚いご支援をよろしく願います。／幹事長・鈴木洋一



幹事長  
鈴木洋一



総務会長  
鶴田有司

.....  
県議会においては単独過半数となった我が会派の責任の重さは、これまで以上に高まったといえましょう。この意味をしっかりと認識し、結果に驕（おご）ることなく、県民の皆さまの声にしっかりと耳をかたむけ、より身近で頼りがいのある県連づくりに取り組んでまいります。／総務会長・鶴田有司

## 移動政務調査会が盛況です

移動政務調査会を数年ぶりに6月11日には県北部で、翌12日には県南部で開催いたしました。地域支部の皆さまから要望事項を伺



能代・山本会場



政務調査会長  
武田英文

うとともに、率直な意見交換ができました。私どもは地域の抱える切実な課題の解決に向け、皆さまの声が県政や国政に反映されるよう努めてまいります。県連の運営は、政策面はもとより各支部との連携がきわめて重要と考えます。これからもこうした機会を大事にし、支部と県連が一体となって力強く歩んでまいりたいと念じております。／政務調査会長・武田英文

## 甘利経産相が来秋

去る5月26日、自民党政務調査会の地域活性化会議が秋田市で開かれ、甘利経済産業相、村上党地域再生調査会長ら一行が来秋。県選出の二田、御法川両代議士、金田参議院議員出席のもと、県内市町村長、県幹部との間で地域再生について意見交換を行いました。席



上、佐竹秋田市長は「都市との格差是正」と「中央街区活性化」を訴えたのに対し、甘利経済産業相は「国の施策に反映できるよう検討したい」と力強く述べました。

## 6月定例議会のご報告

6月定例議会は6月14日～29日の日程で開かれました。自民党会派からは3議員が一般質問を行い、知事および当局の姿勢をたずねました。要約して紹介します。

### ▶ 大里祐一 議員 [鹿角市]

「子育て税」について、選挙では反対を唱えても当選後は賛成に回るのはないかとの知事発言は、候補者を愚弄している。

知事／議論を重ねる中で考えに理解を示す議員もいるのでは、という考えで述べた。他意はない。

「森林環境税」について、周知不足から県民の賛意を得られていない。認められなければ従来の施策もできないという説明では、いわゆる「子育て税」と同じではないか。

知事／制度については理解を得られたが、税導入に異論が出たのは事実。秋田の美林を次代へと引き継ぐためには不可欠であり、既存の森林整備とは分けて考えている。

医師の絶対数が足りない。県の対策はあるか。

知事／医師確保を進めており、今年度から県職員として採用してから自治体病院へ派遣する制度を創る。秋田大医学部の増員枠を利用するなど、国に対しても支援措置を働きかける。

### ▶ 小松隆明 議員 [大仙市]

「森林環境税」について、スギ林の混交林化に4億円を充てるといいますが、いま敢えて事業化する必然性はあるか。

農水部長／公益機能が果たせない森林については混交林化を図りたい。緊急性を確かめながら効率的に実施したい。

山村など限界集落で暮らす人々への対応は。

知事／県単独では対応に限界があるが、地域の主体的な活動を基本に、農山村行政の省庁横断的な運用を国に働きかける。

雄物川中流改修事業の現況と見通しは。

知事／公共事業削減などで時間を要しているが、現在の進捗率57%から推定すると、23年度に完成予定だ。

### ▶ 加藤鉦一 議員 [由利本荘市]

都市と地域の交流・定住促進対策は。

知事／県外出身者が地域にとけ込めるよう、安心して暮らせる仕組みを整えたい。滞在体験型交流メニューの開発を進める。

県民所得、人口減少、婚姻率など、本県の低迷する指標が最下位圏から浮上する策は。

知事／厳しさは認識している。まず働く場を確保したい。企業競争力を高めるため、法人税率削減などを国に働きかける。

企業誘致に向けた知事のトップセールスへの考えは。

知事／昨年は約40の企業訪問を行うなど私が先頭に立ってトップセールスに努めている。企業立地促進法に基づき、さらにいっそうの体制強化を図る。

【編集後記】 6月の移動政務調査会では交付税の早期配分、国・県道のバイパス整備、不足している医師の確保、内陸縦貫線の存続、集落営農に対する税制などの優遇要望など、地域の暮らしに密着した切実な声が多数寄せられました。こうした難題の解決にいち早く道筋をつけ、一日も早く皆さまに安心していただくこと、それが私どもに課せられた責務であると、あらためて認識した次第です。

広報委員長 平山晴彦  
広報副委員長 小松隆明



ご質問、ご意見をお聞かせください。本紙が皆さまから親しんでいただけるよう編集に反映させたいと考えています。

編集／  
秋田県議会自由民主党会派  
政務調査会

〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号 県議会議内  
TEL.018-860-2040 FAX.018-860-2102  
発行／平成19年6月29日



この印刷物はエコマーク認定を受けた再生紙を利用しています